広報 あかいけ

発行所　赤池町役場　　編集　総務課 文書広報係　　No.１３１号

町の人口
（８月末日現在）

総人口	8，896人
男	4，175人
女	4，721人
世帯数	2，665世帯

○とじて保存して下さい。

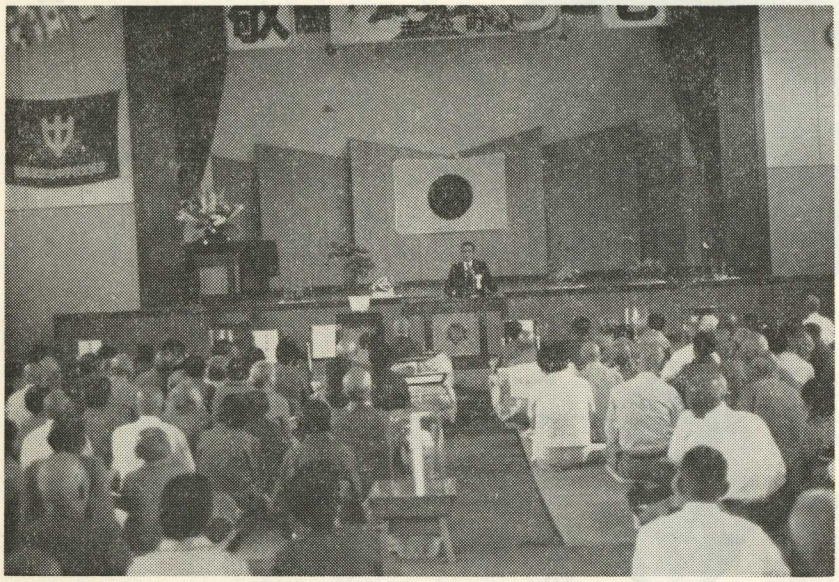
昭和四十七年度敬老会盛大に挙行

さる九月十五日（金）昭和四十七年度の敬老会が町の主催で赤池中学校体育館で行なわれました。

当町の敬老該当者は三五三名でそのうち出席者は二五六名です。

当日は各支所の主な場所に仮バス待合所を置き、マイクロバスで老人を体育館まで送り迎えして多くの出席者を募ることができ、アトラクション等で一日楽しく過ごし無事敬老会を終えました。

老人達は来年もこの様な催しがあって欲しいものだといっていました。



一日を楽しく過ごすお年寄の人達
（赤池中学校体育館にて）

老人のみなさんご苦労さま

赤池町長　池永輝昭

「敬老の日」にあたり、心から感謝と敬老の誠をささげたいと存じます。

皆様は、明治、大正、昭和の三代に及ぶ移りゆく歴史の中で長い人生を歩んで来られたのであります。

この過ぎ行きし人生の中には、経済の危機、そしてあのいまわしい戦争への突入、そして敗戦と幾多の困難とめまぐるしい社会の変動に遭遇された訳です。

この様な社会の中で喜びや悲しみをかみしめ、家族のため町のため又、社会のため、ひいては国家のために、有形、無形の重荷を背負い、歩んでこられた皆様方の御苦労に深甚の謝意を申し述べたいと存じます。

我国の老人福祉行政を他の先進国と比べてみるとき、如何に貧困であるかを今ベストセラーとして多くの人に読まれている〝恍惚の人〟の主人公「昭子」は著者「有吉佐和子」にかわって訴え我国の今後の老人対策に多くの問題を投げかけております。

七十才以上の老人医療費は、無料になったものの先進諸国にくらべて随分と遅れています。当町においても一人暮しの老人の、又今日会に出席できない寝たきり老人健康で働ける老人の仕事の問題等今後解決しなければならない多くの問題点をかかえております。

老人福祉の一環として老人学級の設置、まだまだ働ける老人のための就労事業、町敬老年金の増額老人憩いの家の建設、老人を含めた社会福祉センターの建設などを計画しています。

皆様方の福祉と健康とそして幸福のため又、せめて赤池町に住んでいてよかったと思い返してよろこんでいただける町にするため積極的な行動と勇断をもって努力を続ける所存です。

これから先、皆様方の日常の生活の中でお困りの点がございましたら、ご遠慮なく、役場窓口なり民生委員の方々を通じるなり、或いは直接私の所なりにご相談下さればできる限りのご協力は惜しまないつもりです。

どうか皆様方赤池町の父として母としてこれまでの長い人生の経験者として誇りをもち続けられ、いつまでもご壮健で末長く赤池町をお導き下さいますようお願いいたします。

田中王助さん（92才）ら
―表彰をうける―

88才以上の高令者で県知事表彰を受けた方

上小路　世良　トヨ　91才　女
天郷荘　藤井　フテ　89才　女
〃　野添　タツ　92才　女
〃　田中　王助　92才　男
〃　志手ショウ　91才　女
下小路　加治　虎彦　88才　男
上里二　田口キクノ　90才　女
薬王寺　太田　ウメ　89才　女
上谷　世良　馬吉　90才　男
八の四　長野コトメ　88才　女
下町一　山口　スム　88才　女
下町二　武末　ヒサ　88才　女
原　大久保喜代太郎　88才　男
本町三　西郷里シヨ　89才　女

以上は町長表彰もうける

80才以上夫婦

下小路　加治　虎彦　88才
ヤチヨ　82才
大久保喜代太郎　88才
原　スエ　86才
天郷荘　伊藤市太郎　88才
カツセ　82才
太田　綱治　89才
上里二　タツヨ　80才
平元　乙松　83才
大浦　ヤエノ　84才
一ノ一　喜蔵　83才
中組　池永　スエ　80才
本町三　西郷里嘉蔵　87才
シヨ　89才
前田要太郎　87才
新町　マツ　85才
石松　岩吉　87才
堀　辰野　80才

議長表彰の方（最高年令者）

天郷荘　野添　タツ　92才
〃　田中　王助　92才

尚80才以上87才までの高令者は一一六名います。

住民調査をおえて
―予想外の成功に感謝―

町長　池永輝昭

赤池町が住民福祉最優先を基調とする町づくりの計画を策定するにあたって、住民意識をつかむために行った「住民調査」は関係者の熱心な努力と駐在員をはじめ住民のみなさんの積極的な協力によって、予想以上の立派な成果をあげることができました。

ここに、厚くその労をねぎらいご協力に感謝します。

調査の結果については、現在専門学者に分析と解説を依頼していますが、集計票を散見しただけでも、住民の声を聞く思いがします。

一人ひとりの住民のみなさんは日頃の考え方や思いを何気なく回答されたものでありましょうが、これが集計整理されますと住民のさまざまの声に転化するのに驚かされ、調査の恐しさと必要性を痛感しているところであります。

私をはじめ、行政の任にあるすべての関係者が、この調査にこめられた住民の声を貴重な〝道しるべ〟として、これからの町づくりに努力すべく、決意を新たにしております。

いずれ調査の結果については所管の部局から町民の皆さんに報告されると思いますが調査の集計が終った今日、若干の所感をのべ、調査のご協力に対しお礼を申し上げる次第であります。

回答率（全町平均）**九二%**

町政の〝道しるべ〟まとまる
――住民調査――

八月一日から実施しました赤池町住民調査は、各駐在員の積極的な努力と、住民のみなさんの理解ある協力によって、予想以上の成功をおさめました。

全町住民を対象とするこのような調査は、県内でも珍らしく、果してどこまで住民が調査に応じてくれるか注目されていましたが、全町平均九一、四%と高い回答率をみることができました。

調査票は点検の上で西日本新聞社のコンピューターで集計されました。その結果は、すべての設問事項が二十代三十代などの年代別いつ赤池に住むようになったかの居住時点別、職業別、農村・町部・旧炭鉱のブロック別および各支所別に集約されています。

この調査結果は、現在福祉短大の小関先生によって分析されており、十一月中には報告書がまとまって提出されます。

公民館では小関先生の分析とは別に、集計された主な部分をまとめて、この広報を通じて町民にお知らせすることにしています。

上野柔道スポーツ少年団結成さる

九月五日上野校地区のスポーツの振興と体力づくりのために又少年の非行防止のためにと父兄の要請により赤池町体育協会と教育委員会は上野柔道スポーツ少年団を結成し柔道教室を開設しました。

新装の体育館で柔道着の新らしい四年生以上の生徒が毎週月、水土の放課後指導の先生の合図で体力と精神修養にとりくんでいます。

いつかのオリンピック柔道を日本のものにするかのように……

指導員は赤池町体育指導員講道館三段　世良光章さんです。

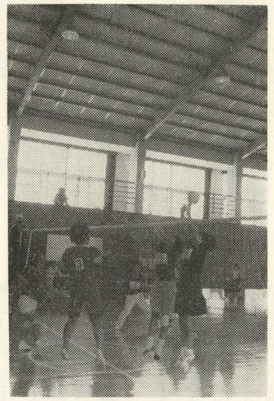
青年女子バレー県民体育大会に出場
惜しくも破れる

田川郡代表として先に郡民体育大会に優勝した赤池町青年女子バレーは小林監督（赤池中学教諭）の下に七月以来赤池中学体育館にて強化練習していましたが、九月二十四日飯塚市で開かれた県民体育大会に出場して過疎の町から立ち上る赤池町の姿の如くはなばなしくたたかいました。

一回戦に八女郡と組み、これを倒し二回戦には強豪行橋市と組みよく善戦しましたが三セットで惜しくも破れました。然し新生赤池町の声は観衆の脳裏に深く刻まれたことでしょう。

出場選手は次の人たちです（当町分）

小島千代子　門柳とみ子
佐々木ひろ子　原　なほみ
宇都宮久子　袴着　洋子
山本　順子　西　頼子



二回戦で善戦する青年女子バレー

ママさんバレー
男女青年　混合バレー大会

各地区対抗

日時　十一月十二日（日）
場所　赤池中学校

一　ママさんバレー（九人制）
各地区又はクラブ及び同好会でチームをつくって下さい。
（但し結婚している人）

二　男女青年バレー（九人制）
男四人　女五人
（26才以下の人）
各地区又はクラブ同好会でチームをつくって下さい。

赤池町体育協会と公民館では町民の皆さん特にママさんや青年男女を対象にバレーボール大会を左記の様に開催致します。

皆さんこぞって参加して下さいお待ちしています。

剣士その技を競う

剣道スポーツ少年団は毎日太田敏男指導員と原田悟先生の指導であのやけつく猛暑の日や、風雨の日も元気よく練習にはげんでいましたが、九月十日その腕を見せるべく剣道大会に参加しました。

高校一般、田川警察署の剣士や方城中、金田中、勾金中、の三校も応援出場にはせ参じて、「メーン」「ドウ」と力強い掛声が会場の市場小学校の講堂に流れました。

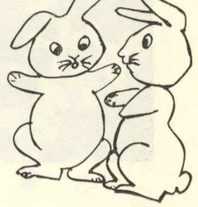
中学団体の部
①赤池中②勾金中③方城中④金田中

中学四校個人の部
①坂辺（勾金）②田中（方城）③久保（勾金）

高校青年一般の部
①広田（田川署）②川原（田川署）③武末一郎（赤池）

技をひろうする剣士
（市場小学校講堂において）

お知らせ



行政相談週間

行政管理庁では、十月十五日（日）から十月二十一日（土）までの一週間を「行政相談週間」と定め、全国一斉に行政相談についての諸行事を行なうことにしています。

ついては、赤池町においても左記により行政相談所を開設致しますのでご利用下さい。

記

相談受付内容

行政に関する一般相談の外、特に許可、認可、登記、登録、検査、検定、証明、その他官庁の窓口事務についての苦情、不満を受付ます。

受付場所

十月十六日（月）
午前十時～午後三時
上野小学校体育館

十月十七日（火）
午前十時～午後三時
赤池中央公民館

十月十八日（水）
午前十時～午後三時
町営伏原団地集会室

危険物取扱者試験案内

1、日時
昭和四十七年十一月十二日
午前九時

2、場所
直方市頓野　直方学園高校

3、準備講習会
(イ) 日時
昭和四十七年十月二十五日
午前九時～午後五時
(ロ) 場所
田川市中央公民館

尚、申込期日は十月二十日までとなっています。

詳しいことは役場消防係へお問い合せ下さい。

福岡県警察官募集案内

(1) 採用予定人員
約二五〇名

(2) 受験資格
学校教育法に規定する大学（短大を除く）の卒業生または昭和四十八年三月までに卒業見込みの者

◉昭和二十年四月二日から昭和三十年四月一日までに生まれた男子

(3) 試験日時
昭和四十七年十月二十九日午前八時三〇分より午後五時まで

(4) 受付期間
九月十八日より十月二十日まで
毎日午前九時より午後五時まで、（土曜日は十二時まで）

(5) 申込み先
福岡市中央区天神一丁目一番一号
「福岡県警察本部警務課試験係」

尚、詳しいことは役場総務課へお問い合せ下さい。

昭和四十七年度自衛隊生徒募集案内

受付期間
昭和四十七年十一月一日から同年十二月二十三日まで

採用予定数
陸上自衛隊生徒　約五百名
海上自衛隊生徒　約百二〇名
航空自衛隊生徒　約百名

試験
第一次試験
昭和四十八年一月七日（日）
第二次試験
昭和四十八年一月二十日（土）
（第一次試験合格者のみ）

合格者の発表
昭和四十八年三月六日（火）

尚、くわしいことは役場総務課へお問い合せ下さい。

シンナー接着剤等の使用防止について

シンナーや接着剤の乱用の恐ろしさは、昭和四十六年全国で死亡者百十三名、乱用して補導された少年四万七千五百八十七名で乱用者による犯罪があとをたたないことからも、おわかりになると思います。

「我が子に限って」と、どの親も思います。しかし、無関心な家庭が多いことも事実です。

福岡県では今年上半期ですでに千三百三十二名が補導され、しかも一名が死亡しており、小・中・高校生にこれが増加している現象がみられます。

県では、青少年保護育成条例でシンナーや接着剤の販売についてきびしく規制していましたが、昭和四十七年八月一日からは、国が劇物取締法という法律の中で更に「販売する者」「乱用する者」等について、きびしく規制することになりました。

（規制内容）

乱用者……シンナーや接着剤を吸入する等の乱用した者、或いは乱用することを目的に所持すれば成人でも、少年でも、三万円以下の罰金に処せられます。

（販売店）……乱用することを知って販売したり、渡したりすれば、それが一回だけの行為であっても二年以下の懲役又は五万円以下の罰金に処せられ、又は併科されます。

シンナーや接着剤の乱用が健全であるべき将来性のある青少年の体と心をむしばみ、悪の道に走らせることのない様、家庭、学校、地域、そして販売店など皆なの力で乱用防止、危害防止に努めていただくようにしましょう。

共同募金（赤い羽根）運動始まる！

期間は十月一日より十二月三十一日まで

住民のみなさんにご協力下さいますようお願いします。

交通実態調査を実施します

十月中に、赤池町を含む県内北部五六の市町村で、交通実態調査（パーソントリップ調査）を県と協力して行なうことになりました。

調査の目的

私たちの生活にとって欠くことのできない鉄道や道路など、いろいろな総合的な計画をつくるためのきわめて重要な資料となるものです。

今後その資料にもとづいて、朝夕の通勤、通学ラッシュや、道路交通の渋滞解消、あるいは新しい鉄道、道路の整備といった日常生活に密着した交通計画を立てていきます。

調査の内容

この調査は、通称「パーソントリップ調査」とも呼ばれており、人（パーソン）の動き（トリップ）を中心にして、調査するもので、ある一日について、皆様の出かけられた場所、利用された交通機関の種類など、交通計画をたてるために必要なこととがらを記入していただくものです。

調査の方法

赤池町全帯世の中から、五パーセントの割合で無作為に選ばせていただき、そのご家庭のうち五才以上の全世帯員のかたに調査票の記入をお願いいたします。

そして、調査日の一日か二日前に調査票をもってご家族を訪問し記入方法などを説明して後日再び回収にまいります。

選ばれたご家庭にはあらかじめハガキで調査についてのご協力をお願いするとともに、調査日の数日前、調査員の訪問日を連絡させていただきます。

皆様方の住んでおられる地域はもとより、この調査区全体の将来をめざして、より良い交通計画をたて、住みよい安全快適な地域社会に発展させるため、皆様がたのご理解とご協力をお願いします。

議会だより

昭和四十七年九月定例議会が九月二十六日（火）開かれ議案第五十三号は昭和四十六年度町立病院事業特別会計決算認定について、議案第五十四号は昭和四十六年度町水道事業会計決算認定について議案第五十五号は昭和四十七年度一般会計補正予算、議案第五十六号は昭和四十七年度町水道事業特別会計補正予算について提出され議案第五十六号は原案通り可決されました。

このほか、失業者等就労事業の賃金引き上げに関する請願書は関係機関に対する請願でありますので本会議としては、町長に早急に関係当局に陳情していただく様お願いし、請願の主旨を了として採択されました。

出席議員十八名、欠席議員なし

愛の献血助け合い運動

こんにちひんぱんに交通事故などがおき、輸血を必要とするのが多く、日本赤十字血液センターにも血液が不足している現状です。

町においても「愛の献血」助け合い運動の一環として献血を実施します。

住民の皆さんのご協力をお願いします。

献血日は次の通りです

と　き　十月二十六日（木）
10時～15時
ところ　赤池町公民館

農業委員はどんな人が選ばれるか

農業委員は、農業委員会の区域内に住所を有する者で、年令二十年以上の者は、当該農業委員の選挙による委員の選挙権及び、被選挙権を有し、赤池町にあっては十アール以上の農地につき、耕作の業務を営む者及びその者の同居の親族、又はこれらの配偶者、並に十アール以上の農地につき耕作の業務を営む農業生産法人の組合員及び社員で、農業委員会において耕作に従事する日数が、年間おおむね六十日に達すると認められた者。農業委員は、選挙による委員十名、選任による委員五名計十五名の委員で組織されています。この十五名のうちより、会長は委員が互選した者を充てます。

農業委員の主な仕事は、農業及び農村に関する振興計画の樹立及び実施の推進、農地等の利用関係についての、あっせん及び、争議の防止に関する事項、又は農地売買農地転用等についての件、その他いろいろな農業に関する仕事があります。

俳句

津和野吟行句

ホトトギス同人
白石天留翁　選

流鏑馬（やぶさめ）の馬場に真昼のちちろ聞く　昭女

見めぐりて流鏑馬々場の野菊濃し　かねよし

民宿のしまい湯ぬるしちちろ虫　駒女

風止んでよりガチャ～の夜明けかな　水心子

鮎舟のにごれる川の竿長し　青甫

爽かに調教終えし人馬かな　景石

秋蝶は風に流されやすきかな　一歩

注　流鏑馬の馬場……乗馬による弓の射撃場

ガチャ～……くつわ虫の鳴き声

ちちろ……こうろぎ

近づく町民文化祭
創作活動をどうぞ

天高く秋色がすすむとともに、文化的行事が盛んになります。

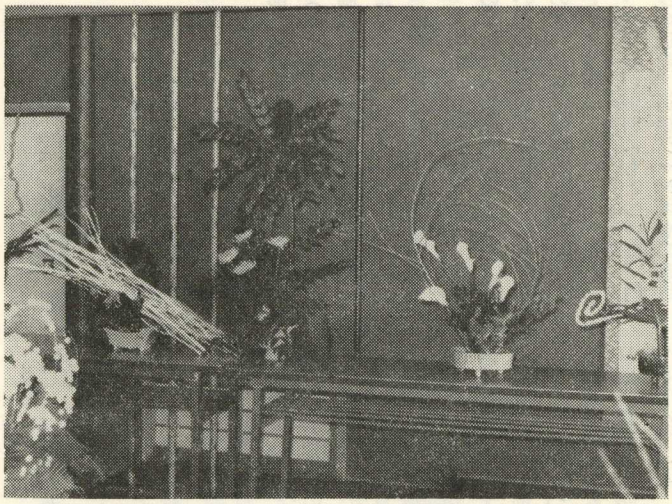
赤池町でも十一月三日の文化の日を目指して、町公民館主催の「町民文化祭」が計画されています。

昨年も生花展や、盆栽展をはじめ、町民の文化活動の作品展が行なわれました。

今年はさらに行事内容を充実させるため、広く町民の文化活動を紹介し、地域文化振興のテコにするため計画が練られています。

町民のなかには絵画、写真、陶芸、書道、演芸、詩歌の創作など幅広い文化活動が潜在化していると思われます。

町公民館ではこれらの町民文化に陽をあて、組織的に振興をはかりたいと思っています。



町民文化祭の日程は十一月三日から五日までの三日間としていますが、行事の計画内容は検討中で、決定次第に町民によびかけを行ないます。

町民文化祭参加の創作活動とともに、文化祭の取り組みについてご意見をも観迎しています。

団地造成工事すすむ

赤池町では、特定地域開発就労事業（小藤団地造成）および産炭地域就労事業（赤池工場団地）の造成工事を現在行なっています。

工事の規模は小藤団地が千二百六〇平方㍍と赤池工場団地が三万八百五〇平方㍍となっています。

小藤団地は昭和四十八年度以降公営住宅約九〇戸建設の予定となっています。

緊急就労事業としては、天郷～永満寺線（直方）の道路新設工事をしています。

工事の内容は巾員四㍍、工事長百七十七㍍となっています。

身障者
松本常雄さん
普通車免許を取る

貴船の松本常雄さんは肢体不自由にもめげず大分県天満町の西日本身体障害者自動車教習所へ通い八月十九日から二十四日間で見事普通自動車免許を取りました。

上野峡を清掃
下田川ライオンズクラブの奉仕作業

観光地の悩みの種は心ない観光客の投げすてた塵芥ですが、下田川ライオンズクラブ（太田達彦会長）では会員総出で上野峡の空カンや紙くずを集めて焼却しました。

「美しい上野峡」で楽しむためにみんなが汚さないように心がけて汗を流して清掃してくれた会員の好意にこたえましょう。

10月の衛生行事

一般住民検診（レントゲン）

10月5日　老人ホーム　10時～15時
10月6日　鋤木田公民館　10時～12時
10月6日　大久保（大久保サカキ宅前）　13時～15時
10月11日　草場（中村正夫宅前）　10時～12時
10月11日　八区公民館　13時～15時
10月12日　三区公民館　10時～15時
10月13日　赤池町役場　10時～15時
10月16日　中尾生活館　10時～15時
10月17日　中尾生活館　10時～15時
10月18日　上野保育所　10時～15時
10月19日　赤池保育所　10時～15時
10月20日　赤池町役場　10時～15時

狂犬病予防注射

10月24日　草場公民館　10時～12時
10月24日　上野小学校　13・30時～15・30時
10月25日　八区公民館　10時～12時
10月25日　赤池商事　13・30時～15・30時
10月26日　赤池町役場　10時～15・30時

乳児生ワク投与

10月27日　赤池町公民館　1・30時～15時

（なお、生ワクは生後三ケ月から一年六ケ月までの乳児）